

No.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答	DFR 反映内容
25	P37,38	<p>計画地に関する代替案比較が記載されているが、環境社会配慮面の項目が全く含まれていないのではないか。計画地には違いがあるのに、なぜ含まれないのか。また、取排水に関して、環境社会影響に関わる分野に、河川の自然生態系への影響や配管設置に伴う影響が含まれていないが、何故か。「大河川であるため影響の程度は最も小さい」とか、チャウセ川案に特定するにあたり、他案に比べて「用地取得・・・が少ない」とされているが、影響の大小といった抽象的な表現によるのではなく、これらの影響内容と程度を、将来の調査で、きちんと説明する必要があるのでは。（質）</p>	<p>作本委員</p>	<p><計画地に関する代替案> 候補地はチャオピュー（計画 1）、チャウセ（計画 3）は若干の樹木があり、ミンジャン（計画地 2）は整地となっており違いが見られますので、これらの状況について DFR に追記します。 <取排水管に関する代替案> 河川の自然生態系に関して詳細かつ経年的に整理された二次情報が無いため、河川の流量規模、閉鎖性水域の有無など入手可能な情報を基にした比較により影響を推定しています。 配管は既存道路または農地の下に埋設し、その後は元の利用に戻りますので、変化が生じないため記載していません。</p>	<p>DFR 11-145 ページ、Table 11.1-98 に追記します。該当箇所は別添に記載しました。</p>
26	P42	<p>水源及び取排水管ルート of 代替案を検討する際に、環境社会影響として、水利用の状況（農業用水、飲料水等）、河川・湖沼の利用の状況（漁業、レクリエーション利用等）は検討されたのか。（質）</p>	<p>源氏田委員</p>	<p>現地踏査および関連機関へのヒアリングを基にした各水源（河川および湖沼）の比較の結果、最も重要な項目である安定した水源からの取水可能性の観点より、事業に必要な水量の安定した水源としてミンゲ川に絞られました。そのため、詳細な水利用の状況（農業用水、飲料水等）、河川・湖沼の利用の状況（漁業、レクリエーション利用等）は検討されていませんが、選択されたミンゲ川に関しては、取水候補地から離れた上下流で水浴びや船着き場として利用する箇所もありますが、取水候補地ではその様子は見られず、水場利用はほとんどないことが</p>	<p>水源の安定確保等の観点から、Plan-2、Plan-3 に絞られ、このうち、Plan-3 の方が農業用排水数の少ないことが分かるように、DFR 11-148 ページ、Table 11.1-99 に農業用排水数を記載します。該当箇所は別添に記載しました。</p>

				<p>明らかになっています。また、取水候補地の周辺では掘り込み河道となっているため、農業、飲料用の取水も見られません。</p> <p>取排水ルートに関しては、ルートを横断する農業用排水路の数をヒアリングにて確認し、数の少ないルートを決定しておりますので、その旨を DFR に追記いたします。</p>	
28	P40	<p>番号 1 と内容が重なりますが、「計画 0」の重要な点は温室効果ガスの排出がないことです。また、同時に、同事業が実施されなかった場合に、より排出量の大きい発電所建設によって電力需要が満たされるリスクがあるという点です。この点をノーアクションの検討として加筆できないでしょうか。(コ)</p>	柴田委員	<p>代替案検討の環境社会配慮の中の項目に、気候変動の項目を追加し、温室効果ガスの排出について追記、比較検討の材料とし、DFR に追記します。</p>	<p>DFR 11-146 ページ、Table 11.1-98 に記載します。該当箇所は別添に記載しました。</p>
29	P44	<p>冷却方式の技術面の検討において、空冷式を採用する場合の気温、湿度についての技術的適合性は既に確認されていますか。一般に、空冷（復水）式の場合、気温が高い地域（湿式通風冷却の場合は湿度が高い地域）は冷却効率が低下する傾向にあると思われます。(質)</p>	柴田委員	<p>冷却方式にかかる代替案検討表の、技術面の項目内に、気温、湿度についての技術的適合性についても DFR にて追加致します。</p> <p>ご指摘のとおり、高温地域では、高温地域ではない場所と比較して冷却効率が低下致しますが、ミャンマー国のガス火力発電所の多くが空冷式を採用しております。</p>	<p>DFR 11-152 ページ、Table 11.1-102 に気温、湿度についての技術的適合性について、記載します。該当箇所は別添に記載しました。</p>
41	P43	<p>ミンゲ川の水域生態系（水域の周辺と水棲の生態系）のデータが示されていない。ミャンマーの場合には、国際的にも希少な生態系ホットスポットに国土の大半が含</p>	作本委員	<p>水域生態系について雨季・乾季両方のベースライン調査を実施し、影響評価を行い、DFR に記述致します。</p>	<p>水域生態系調査結果と評価は、以下のように魚類について DFR 11-109 ページ以降に記載しております。一覧表 Table 11.1 67 は別添に記載しました。</p> <p>h) Fish Field surveys and interviews with local fishermen who lived in the survey area were conducted during the collection of the specimens. Fishing activities are</p>

		まれるので、地球規模でも配慮が必要と思われます。(コ)			mostly traditional method. Fishermen were interviewed with regard to fishery process. A total of 44 species distributed 16 family were identified and recorded from the survey area and Myitnge River. The most commonly observed species are <i>Puntius chola</i> , <i>Catla catla</i> , <i>Labeo rohita</i> . The dominant Family is Cyprinidae. According to the IUCN Red List (2018), five species were near threatened species, and these were <i>Osteobrama belangeri</i> , <i>Ompok bimaculatus</i> , <i>Ompok pabo</i> , <i>Wallago attu</i> and <i>Bagarius bagarius</i> . Others were least concerned and not evaluated. Confirmed species identified in the survey area are presented in Table 11.1 67. Photo of some recorded fish species are shown in Figure 11.1 47
42	P44	水利用にあたり、ミンゲ川を汚染しないためにも、スコーピングで排出基準値を守るだけでなく、より適切な技術を活用して、水処理を行った上で、排出すべきであろう。この点で、本報告書には、排出前の水処理方法の対策の説明が欲しい。(コ)	作本委員	事業は汚濁物質を多量に排出する事業ではありませんが DFR において、水処理方法を記載します。	水処理方式は DFR (Chapter8) 8-32 ページに記載しております。記載内容は以下になります。 it is necessary to be treated in clarifier tank(s) for sewage wastewater. Wastewater discharge quality should comply with effluent standards (refer to Section 8.5.3). After treatment, the cleaned wastewater streams should be discharged through the drainage pipe to the river from the nearby intake point. 基準値は DFR 11-29 ページに記載しました。該当箇所は別添に記載しました。
43	P43	取排水設備との関連で予想される土地取得の規模についても、調査段階では明確にする必要があるのではないのでしょうか。(質)	作本委員	採択案につき、取排水設備の設置のために必要となる土地取得の規模につき、調査を実施し DFR で記載します。	用地取得の規模については、DFR 11-402 ページ、Table 11.2-5 に記載しました。該当箇所は別添に記載しました。
46	P19	1.2.1.9 植生及び野生生物において、大まかな植生、野生生物の状況が紹介されているが、データの出所等を明確に記載する必要があります。(コ)	作本委員	出典は、シンガイタウンシップがホームページ上で毎年公表している資料であり、「Township Profile, General Administration Department, Sintkaing Town, 2017.」です。DFR に追記します。	DFR 11-70 ページに植生及び野生生物の既存文献情報に係る出典を記載しました。
50	P20	「計画地は、(発電所サイト、取配水管、ガスパイプラインルートを含む)、ミャンマー国の国内法で	源氏田委員	計画地(発電所サイト、取配水管、ガスパイプラインルートを含む)は、Key Biodiversity Area や Important Birds	該当箇所は DFR 11-71 ページに記載します。記載内容は以下になります。

助言委員会スコーピング時コメント対応表

		定められる保護区には該当しない」とあるが、Key Biodiversity Area や Important Birds Area にも該当していないか。他のミャンマー案件で、これらの地域が議論となったこともあり、確認したい。(質)		Area にも該当いたしません。この旨 DFR にも追記致します。	According to the World Database of Key Biodiversity Areas, the project site is also not belonging to the Key Biodiversity Areas (KBA) and Important Birds Area (IBA).
63	P52	表 2-3 のうち、8. の本事業の移転方針について、「平易な表現を用いて住民協議を開催する」の前に、「影響を受ける人々が理解できる言語と」を追加する。(コ)	源氏田委員	ご指摘の点、DFRにて追記するとともに、影響を受ける人が理解できる言語と様式で住民協議を開催致します。	ご指摘の「影響を受ける人が理解できる言語と」を DFR 11-399 ページ、Table 11.23 に記載します。該当箇所は別添に記載しました。